

利益相反審査番号	
利益相反審査結果	

## 倫 理 審 査 申 請 書

平成 27年 8月 5日

川崎医科大学・同附属病院  
倫理委員会委員長 殿申 請 者 (主任研究者)  
所 属 川崎医科大学附属病院 12階中病棟  
職 名 看護師  
受講番号 第15-0271号  
氏 名 岡上 笑子 印

※受付番号 2173

	所属長氏名	高杉 栄子	印
1 審査種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 計画変更	
2・審査区分：A~Fの該当する事項全てに <input checked="" type="checkbox"/> をして下さい。 <input type="checkbox"/> A. 人を対象とする医学系研究 ( <input type="checkbox"/> 前向き <input type="checkbox"/> 後ろ向き <input type="checkbox"/> 侵襲無 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲有 <input type="checkbox"/> 侵襲有 <input type="checkbox"/> 介入無 <input type="checkbox"/> 介入有) <input type="checkbox"/> B. ヒトゲノム・遺伝子解析研究 <input type="checkbox"/> C. ヒト幹細胞研究 <input type="checkbox"/> D. 遺伝子治療 <input type="checkbox"/> E. 幹細胞治療 <input checked="" type="checkbox"/> F. その他 (アンケート)			
3 厚生労働省未承認の薬剤・機器・その他を使用する (保険適用外検査を含む) : はい ・ <u>いいえ</u> 未承認薬使用「いいえ」の場合：添付文書の投与量、方法などを逸脱 (する <u>しない</u> )			
4 課題名：産科混合病棟におけるターミナルケアの現状 ～デスカンファレンス導入による看護師の意識の変化～			
5 主任研究者：所属	川崎医科大学附属病院	12階中病棟	職 看護師 氏名 岡上 笑子
6 分担研究者：所属	川崎医科大学附属病院	12階中病棟	職 看護師 氏名 白石 菜津美
	所属	川崎医科大学附属病院	12階中病棟 職 看護師 氏名 財田 夏希
	所属	川崎医科大学附属病院	12階中病棟 職 看護主任 氏名 岡崎 直子
7 研究等の概要：川崎医科大学附属病院12階中病棟は、産婦人科を中心にその他多くの疾患を有する女性を対象とした他科との女性混合病棟である。生命誕生の瞬間から死の瞬間という両極端な状況を同時に経験しながら看護を行っている。当病棟は、亡くなった患者のケアを振り返る機会が設けられておらず、当病棟の看護師は、末期癌患者に対し十分に関われない思いや看取りの辛さなど、ネガティブな感情を抱き続けたり、煩雑な業務の中で看取りを行ったりすることへのジレンマがあると予測される。そこで、デスカンファレンスを導入することで、看護師の終末期に対する思いと、意識の変化の有無やデスカンファレンスの効果を明らかにすることを目的とし、病棟看護師を対象にデスカンファレンス前後で49項目、6段階評価を用いたアンケート調査を行う。分析方法は、結果を項目毎に単純集計したものをもとに考察を行う。			
8 研究等の対象、実施場所、実施期間： 対象：12階中病棟の助産師、看護師約20名 実施場所：12階中病棟 期間：倫理審査承認日から平成27年12月末まで			

【注意事項】 申請書の改変は不可。

## 9 研究等における医学倫理的配慮について

### (1) 研究等の対象とする個人の人権擁護

調査依頼書は無記名で行い、回収した用紙は研究者が研究終了まで、施錠できる休憩室内の病棟内ロッカーに鍵をかけて保管する。研究終了後に、5年間保管の後、シュレッダーにて処理する。また、患者個人が特定されないよう死亡3か月以内のデスカンファレンスの実施時期は、明確にしない。患者情報の年齢、疾患名、患者の社会的背景、家族構成、キーパーソン、IC内容等のうち分析に不要な内容は明記しない。

### (2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

調査の依頼に際しては、病棟会議でスタッフへ研究内容とデスカンファレンス導入について説明する。調査用紙には、依頼文を添え、調査の参加は自由意思であり、不参加での不利益はないこととする。

病棟会議で告知後、12階中病棟スタッフ全員へ調査依頼書を配布し、回収をもって参加同意とみなし、無記名回収のため、個人は特定されないようにする。

### (3) 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性に対する配慮

個人情報保護を行うとともに、匿名性に留意する。また、研究に参加しないことで不利益なことがないよう留意する。

### (4) その他

本研究における主任研究者および分担研究者は深刻な利益相反の状態になってはいない。

本研究に関わる被験者の金銭的な負担はなく、また謝礼もない。

研究資金は病棟詰所費によって行う。

研究成果に関しては、学会報告や論文作成を行い、社会への貢献を行う。